

海

海とは、うつろしいものだ。

だが、よつしでもよびしてしまえば

まぢれもぬい、ただの死海だ。

感いがうかんじぎだが

こびくを思ひ出して、一人漂流する

自分はいったい誰ぞ何なのか

いつしか覚えるようになった。

右も左も

嘘だけどそれがいづし信いられ

自分を思いだし自分の人生を好に歩んで

いこ。

だが、自分の身は自分で守れ。

運命に流される重目の中にくかぶ

息ぐるしいイキザの未来

束縛の鎖をこつて私は断ち切つた！

断ち切り一歩一歩とゆつくり歩み、進もう

ゆつくりとリラックマし好むように。

ワライマツリスハ...

雷

かいぶ詰まった心

雷を思い出し、そこにあるのは

晴天の空

器の上には、とてもおいしい料理かの

つこいる。

いまにも、食べたいか、食べたかぢぢ

た。

つかまんとようは

A

理輪でしぱりつけて生まれる未来

私は思ふんだ未来を見るしかない

一心に柱をゆるめな

未来に私は抗議する。

G

だから、抗議した所で、未来はかきうが

11の

K

世間はそう見る

だから、現実には東轉だ。

斬断した決意を固めた。

そう思い、私は空を見上げた。

G